地元の魅力「清流と川魚」

　緑と清流という自然に恵まれた飯能市は、豊かな森林、清らかな流れの入間川と高麗川がある、入間川最上流(名栗川)と名栗湖から流れる河川環境は改善されて原市場から名栗にかけて色々な魚と野鳥などが生息しています。

　昔は上流にはヤマメが見られ、カジカなど川底の湧水に群れていたハヤウグイ、ヤマベ、ドジョウ、ギンギョなどの多くの魚が生息していた。
また、水中昆虫ではオニヤンマなどのトンボ、黒川虫(トビゲラ)、チョロ虫の魚釣りのエサにするカゲロウの幼虫、ホタルのエサとなるカワニナが多くおり渓流釣りが盛んに行われていた。

現在は入間川に清流を取り戻すための水質改善効果もあり、多くの魚影が見られるようになりましたアユ、ヤマメ、マス等を放流し渓流釣りなどのマニアの方を楽しませています。
また、自然増殖でハヤ(ウグイ)、カジカ、ギンギョ(ギギ)、サッパ(オイカワ)などが見られる様になりました。ウナギもいるそうです。

猛暑により例年以上に川遊びを楽しむ姿も多く、河川での魚釣りも見られました。

近年はカワウが増加し大挙して飛来、放流アユ・ヤマメなど食べてしまうなど、自然環境に悪影響がでる問題も出ています。

資料参考　・甦れ入間川　　矢澤　保平　編著
・川めぐり絵図には当時の自然の姿を見る

飯能
川めぐり絵図

飯能市

峠をその西とし、吾野地域から東吾野地域を貫流して日高市に流れています。山々の間を縫うように流れる川に沿って国道299号と西武秩父線が走り、その車窓からは、次々と変わる川の風景を楽しむことができます。

刈場坂峠を源とする源流部は正丸地区の山々からの湧水を集め、正丸トンネル付近より国道に沿って蛇行を繰り返し渓谷は強く急な流れとなっています。

久通川、北川等の支流が合流し流れも少し緩やかとなった「あじさい館」付近では深い淵がところどころにあり、元気に泳ぐ魚たちの姿も見られます。

と呼ばれ親しまれている岡に松の木を乗せた大きな岩が目に入ります。更に進むと坂石町分地区の宿場町を思わせるようなたたずまいを魅せる街並みが見られます。

長沢川が合流する付近から川幅もやや広くなり、比較的緩やかな流れとなっています。川のほとりに建つ「かたくりの郷」では、緑と清流を存分に味わいながらバーベキューや栗拾いなど四季折々に楽しめます。

平坦な河原も多い白子地区では夏ともなれば涼を求める家族づれをあちこちで見かけます。また、空飛ぶ宝石とも言われているカワセミも見ることができます。

高麗川は、みどり豊かな吾野、東吾野の山々が水を生み出し、清流を育んでいることを実感できる川です。

飯能の川と西川材

江戸時代、江戸より西の方角にある入間川（名栗川）、高麗川から送られて来る木材を「西川材」と呼びました。そして、大正から昭和の初め頃まで、これらの川から荒川を経て千住まで西川材を筏に組んで流していました。当時、川は大切な経済流通路として利用されていました。

昭和初期の筏下り

高麗川

入間川に次ぐ大きな川で正丸地区の刈場坂峠をその源とし、吾野地域から東吾野地域を貫流して日高市に流れています。山々の間を縫うように流れる川に沿って国道299号と西武秩父線が走り、その車窓からは、次々と変わる川の風景を楽しむことができます。

刈場坂峠を源とする源流部は正丸地区の山々からの湧水を集め、正丸トンネル付近より国道に沿って蛇行を繰り返し渓谷は強く急な流れとなっています。

久通川、北川等の支流が合流し流れも少し緩やかとなった「あじさい館」付近では深い淵がところどころにあり、元気に泳ぐ魚たちの姿も見られます。

坂石橋を渡りしばらく進むと「弁天岩」と呼ばれ親しまれている頂に松の木を乗せた大きな岩が目に入ります。更に進むと坂石町分地区の宿場町を思わせるようなたたずまいを魅せる街並みが見られます。

長沢川が合流する付近から川幅もやや広くなり、比較的緩やかな流れとなっています。川のほとりに建つ「かたくりの郷」では、緑と清流を存分に味わいながらバーベキューや栗拾いなど四季折々に楽しめます。

平坦な河原も多い白子地区では夏ともなれば涼を求める家族づれをあちこちで見かけます。また、空飛ぶ宝石とも言われているカワセミも見ることができます。

高麗川は、みどり豊かな吾野、東吾野の山々が水を生み出し、清流を育んでいることを実感できる川です。

入間川

市内を流れる川の中で流量や川幅が一番大きく、渓相も豊かです。隣接する名栗村の大持山にその源を発し、本市のほぼ中央を東西に流れ、入間市、狭山市、川越市と流下して荒川に合流しています。飯能河原から上流は「名栗川」の愛称で呼ばれ、市民に親しまれていると共に、四季を通じて多くの釣り人や行楽客が訪れるなど本市のシンボルともなっています。そして流域には、飯能河原をはじめとして川遊びを楽しめる数々のポイントがあります。

先人達は川を巧みに利用してきました。その昔、地域の木材を筏に組み「西川材」として江戸へ運んでいたことは余りにも有名です。水明橋付近の河川景観を特徴づける石積みの堰は、元々は水車を動かすために築かれた導水路の跡で、この川が木材の輸送手段としてばかりでなく幅広く利用されていた様子が伺えます。

水は、私たちにとって無くてはならない物の一つです。本市では上水道の大部分を入間川に頼っており、小岩井取水場と本郷取水場の２箇所を設置して用水を確保しています。また、入間第二用水土地改良区が管理する小瀬戸取水堰からは稲作期にかけて満々の水が宮沢湖へ送られ、精明地域をはじめとする下流地域の広大な水田を潤しています。

入間川は、昔も今も市民生活と地域産業に深い関わりを持つ、極めて重要な水資源です。

飯能
川めぐり絵図
River of Hanno Illust Map
清流を想う。川辺を歩く。
ときにはおだやかな流れ。
ときには急峻な瀬の流れ。
いくつも表情を変える飯能の川を
今日はじっくり散策してみよう。
きっといつもと違う川の姿が
見えてくるはず。
入間川・高麗川・成木川にすむ主な魚
ヤマメ
サッパ（オイカワ）
カジカ
アユ
ギンギョ（ギギ）
ハヤ（ウグイ）
ウナギ
飯能の川辺にすむ生き物
ホタル
カワセミ
カジカガエル（カワズ）
カワニナ
緑と清流に映え、ひとの心がかよう飯能

入間川・高麗川・成木川にすむ主な魚

ヤマメ

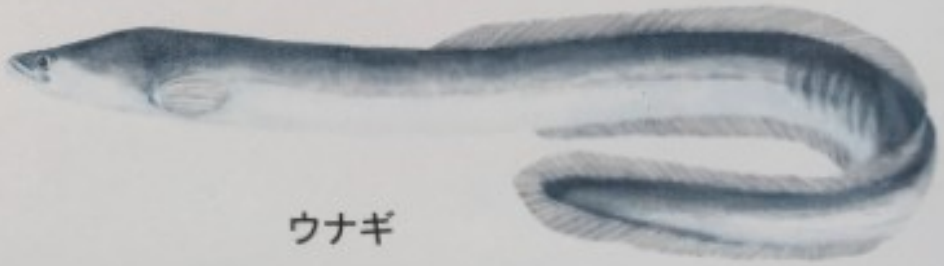
サッパ（オイカワ）

カジカ

アユ

ギンギョ（ギギ）

ハヤ（ウグイ）



ウナギ

飯能
川めぐり絵
River of Hanno Illust
都幾川村
横瀬町
越生町
毛呂山町
名栗村
高麗川源流
上吾野浄水場
鳥山不動尊
西宮秩父線
大麓山
大麓山川
花園川
久邊川
長沢川
高畑山
天日畑峠
子の権現
あじさい館
不動の滝
井天岩
ふれあい農園
天覚山
竹寺
下中沢橋
虎秀川

アユ
ギンギョ（ギギ）
ハヤ（ウグイ）
ウナギ
カジカ
ホタル
ふれあい農園
不動の滝
日高市
青梅市
入間市
狭山市
天覧山
弁天岩
入間川
成木川
西武池袋線
カタクリ
イカリソウ
飯能河原
阿須運動公園
あけぼの子どもの森公園